

人工内耳スピーチプロセッサのアップグレード指針

2024年1月18日 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 承認

1) 対象

音声言語をコミュニケーション手段とし、人工内耳を継続的に装用している18歳未満の小児および18歳以上の成人で、現在使用しているスピーチプロセッサの機種（旧機種）で静寂下、CI2004を用いた単語検査の明瞭度が80%以下の患者（検査条件は以下の3）に記載）。

2) 装用期間

同一のスピーチプロセッサを継続的に装用してから5年以上が経過。

3) 処方基準

音場でCI2004を用いた単語検査を用いて、新旧のスピーチプロセッサの比較試験を行う。静寂下、65dB SPLの刺激音を1m離れたスピーカで提示した時の旧機種の単語検査の明瞭度が80%以下のものが、新機種の装用で8ポイント以上の正答率の改善が得られた場合。

4) 診療録への記載必須項目

旧機種名と使用開始日、新機種名、旧機種と新機種の語音聴取の検査結果。